

JOYO BANK NEWS LETTER

2023年3月28日

「地球にやさしい企業表彰」受賞について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、このたび、茨城県による「令和4年度地球にやさしい企業表彰 環境マネジメント部門」を受賞しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」を長期ビジョンとして掲げ、持続可能な地域社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする地域の全てのステークホルダーの皆さまの課題に寄り添い、ともにあゆみ解決することで、新たな価値を創り続けてまいります。

記

1. 地球にやさしい企業表彰とは

茨城県では、省エネ・省資源などの地球環境保全行動に積極的に取り組み、他の模範となる企業を表彰しています。

「環境マネジメント部門」を含む4部門が表彰対象となっており、当行が受賞しました「環境マネジメント部門」は、事業所などの環境管理について、経営方針に基づき環境保全活動の具体的な実践活動の取り組みに成果を挙げている企業を表彰しています。

2. 表彰理由

当行を含むめぶきフィナンシャルグループは、グループ環境方針^{*1}を定め、自らの企業活動において環境負荷の低減に努めるとともに、事業活動を通じて環境問題に取り組んでいます。

2021年3月にTCFD^{*2}提言へ賛同し、現在、CO2排出量の削減目標（スコープ1、2）を2030年度にネット・ゼロとすることを目標に掲げ、ロードマップを作成し脱炭素社会の実現へ向けた各種取り組みを進めています。

今回の受賞は、「2030年度のCO2排出量ネット・ゼロ」に向けた大規模拠点への再生可能エネルギーの導入や営業車の脱炭素化、太陽光発電システムを設置した環境配慮型店舗への移行など、環境活動を積極的に展開していることが評価されました。

なお、地球にやさしい企業表彰は今回で3回目の受賞となります。

*1 「グループ環境方針」…めぶきフィナンシャルグループのホームページをご参照ください。

<https://www.mebuki-fg.co.jp/sustainability/environment/>

*2 TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures)。主要25カ国・地域の中央銀行、金融監督当局などが参加する金融安定理事会 (F S B) により設置され、企業・団体等に対し、気候変動関連のリスクおよび機会に関するガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標について開示することを推奨している。

以上



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5

Tel. 029-231-2151 (代表) www.joyobank.co.jp

【ご参考資料】

■本表彰における当行の受賞歴

- 2019年度 植樹活動（環境パートナーシップ部門）
- 2021年度 紙資源の使用量削減（環境マネジメント部門）
- 2022年度 「2030年度のCO2排出量ネット・ゼロ」に向けた取り組み（環境マネジメント部門）【今回】

■当行の取り組みおよび地域のお客さまの脱炭素に向けた支援

1. 当行の取り組み

(1) 今回受賞となった「2030年度のCO2排出量ネット・ゼロ」に向けた取り組み

①大規模拠点に再生可能エネルギーを導入

⇒2022年7月、常陽銀行の本店等大規模拠点（本店、つくばビル、ひたちなかビル、事務センター）に再エネ電力を導入。

2021年度の当行CO2排出量は10,395 tであり、前記4拠点の電力を再エネ電力にすることで年間約3,400 tのCO2排出量が減少する見込みです。



②営業車の脱炭素化

⇒営業車をガソリン車から環境対応車へ順次移行中：

移行率78%（2023年2月末時点） 2030年度までに全台入替完了予定

環境に対応した営業車の一例

③環境配慮型店舗への移行

⇒新店舗への太陽光発電システムの設置：8店舗に設置

⇒店舗照明のLED電球への切替：109店舗完了（2023年2月末時点）

2024年度までに全拠点切替完了予定



太陽光パネル設置店（福島支店）

(2) 「2030年度のCO2排出量ネット・ゼロ」に向けたロードマップ

年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度		
方針・目標等		[2021年3月] ・TCFD提言への賛同（2021年3月） ・CO2排出量削減目標設定（2030年度のCO2排出量を2013年度比30%以上削減）	[2022年4月] ・グループサステナビリティ方針、グループ環境方針等制定 ・2030年度のCO2排出量ネット・ゼロに目標引上げ ・サステナブルファイナンス目標設定…2021年度～2030年度累計：3兆円（うち環境分野：2兆円） ・GXリーグ基本構想への賛同								CO2排出量ネット・ゼロ		
Scope1	ガソリン											営業車の脱炭素化（ガソリン車⇒環境対応車への移行。*2022年3月末時点移行率63%）	全台完了
	A重油・ガス											非常用発電設備の省エネ化	
												エネルギー使用量削減の継続（空調設定温度、早期退社等）	
Scope2	電気											空調設備の省エネ化	全設備完了
												照明のLED化	全拠点完了
												再生可能エネルギーの導入	
												大規模拠点への再生可能エネルギーの導入	
												子銀行の各営業店への再生可能エネルギーの導入	
												太陽光発電設備設置・PPA・グリーンエネルギー発電事業の活用検討～実行	
オフセット												カーボンオフセット・技術動向を踏まえた削減策の調査・研究～実行	
												J-クレジットの試行	
												GXリーグへの参画を通じた各種取り組み	
												J-クレジットの本格活用	
その他												お客さまとの脱炭素に関するエンゲージメント（対話）の充実～お客さまの脱炭素支援～	
												植樹活動の継続（常陽ふるさと森、あしぎんの森）	

2. 地域のお客さまの脱炭素に向けた支援

(1) SDGs 取り組み支援「SDGs 取組宣言支援サービス」

地域企業の SDGs への取り組み状況の可視化を通じて取り組むべきポイントを整理し、明文化する「SDGs 宣言書」の策定を支援しています。

(SDGs取組宣言支援件数 408先：2021年11月1日のサービス開始以降の累計)

SDGs取組宣言支援サービスおよび「SDGs宣言書」を作成されたお客さまを当行ホームページでご紹介しております (<https://www.joyobank.co.jp/enterpri/sdgs/>)。

(2) CO2 排出量削減支援

当行の連携先と協業し、CO2 排出量の算定可視化の支援や CO2 削減のソリューションの提供を通じ、お客さまの脱炭素経営を支援しています。

(3) 地域の脱炭素化支援

当行子会社である常陽グリーンエナジー株式会社と連携し、再生可能エネルギー電源の取得・発電や、環境に関連した金融商品（J-クレジット、私募債等）を通じた、地域の脱炭素化・カーボンニュートラル支援を行っています。

<お客さまの脱炭素関連ソリューション例>

区分	ソリューション（例）
SDGs 全般	SDGs 取組宣言支援サービス
脱炭素 ・カーボンニュートラル	1. CO2 排出量算定支援 2. CO2 排出量削減支援（提携先等との連携） ① 自家消費型太陽光発電 ② 省エネ設備への切替え ③ EV 切替え ④ J-クレジット購入
サステナブルファイナンス	ESG ファイナンス（ポジティブ・インパクト・ファイナンス、サステナビリティ・リンク・ローン等）、SDGs 簡易診断制度付融資 他